

勝田成選手 (2022年卒) 広島カープ入団

卒業後、近畿大学では1年の秋からリーグ戦に出場。3年の夏には大学日本代表に選出され2年春から6期連続で打率3割越えを記録。

2025年ドラフト会議にて広島東洋カープより3位指名を受けた。背番号0、身長163cmはNBLで一番の小柄ですが、プロ野球でのさらなる活躍を期待しております。



硬式野球部 2025年12月7日(日) 毎年恒例の野球部会及びOB総会を開催



3年生は久しぶりの試合、OB戦を戦いました。最後のユニホーム姿は、甲子園を目指したグラウンドでみんな笑顔で終える事が出来ました。

卒業後は野球部OB、OGとしての活躍を期待したいと思います。

また、2025年プロ野球ドラフトで令和4年卒の勝田成が広島東洋カープ3位指名。OBがプロの世界で挑戦する姿を楽しみにしたいと思います。皆様ご声援よろしくお願い致します。

OB会幹事長 梶井 武博 (平成7年卒業)



サッカー部 2026 新春初蹴り

2026年1月3日 関西大学北陽高校人工芝グラウンドにてサッカー部の初蹴りに多くのサッカー部OBが集合した。現役選手と多くのサッカーOBは限られた時間であったが元気なプレイで交流した。

開会式では、矢田監督、新主将の力強い言葉。OB会保護者会会長から激励の言葉が贈られた。

2026年はサッカー部 創部100年の年になる。昨年末に、念願のプリンスリーグII部に昇格を決めたサッカー部の新たなステージで全国大会出場に挑む。



編集 後記

岸和田新市長も北陽出身かぁ スマホが何でも教えてくれる時代です。2025年は、昭和100年、母校は100周年、大正から昭和を生きた先人達は、100年後の今を想像できたであろうか? 時代や常識が恐ろしいスピードで、アップデートしている。訪日観光客が街にあふれ、少子高齢化とAiの進化が止まらない、変化に対応しないと生きていけない時代である。ひと昔の常識は通用しない。100年続いた「北陽」の名称と「校歌」は、未来永劫に不変であって欲しい。

広報委員会



関西大学北陽高等学校同窓会

同窓会事務局

〒533-0006 大阪市東淀川区上新庄1丁目-3番-26号
TEL.06(6328)5964(代) FAX.06(6320)3032 Email:info@hokuyo-ob.jp

関西大学北陽高等学校
同窓会ホームページはこちら
<https://www.hokuyo-ob.jp>



北陽 同窓



Hokuyo alumni annual letter



CONTENTS

寄稿 - 発刊によせて -	01	母校だより - 在校生のトピックス -	07
定期代議員会	03	課外活動 クラブ表彰・進路	
同窓会決算/予算/役員・顧問	04	関東支部だより	13
同窓会だより	05	同窓会協力基金について	14
交流会・同窓生の近況		HOKUYO NEWS	裏

「新たな100年に向けて」

2025年、母校である関西大学北陽高等学校は、創立100周年を迎えました。すべての同窓生の皆様と一緒に、母校創立100周年をお祝いできることは、とても嬉しく、また誇らしい気持ちでございます。

同窓会を代表して、学校法人の関係者の皆様、教職員の皆様をはじめ、母校に携わってくださったすべての方々に心より感謝申し上げますとともに、同窓生の皆様の弛みない社会におけるご活躍や貢献により、母校創立100周年という伝統を生み出してくださったことに対し敬意と感謝を申し上げたく存じております。

母校の歴史に目を向けますと、大正14年に創設された後、20年ほどで、敗戦による国家体制の転換及びそれに伴う価値観の根本的な転換を経験し、その後高度成長期もあり、ここ30年間では、ほとんどすべて社会領域においてIT化の波が押し寄せるなど社会環境は、目まぐるしく変化し、教育理念や社会から求められる教育内容も時々刻々と変化するなかで、教育機関として発展し続けることは容易いことではなかったものと思います。

関西大学北陽高等学校
同窓会会長 **原 強**
(昭和51年卒業)



母校が100周年を迎えることができましたのは、学校法人の関係者の皆様の不断のご献身、そして北陽高校学校から関西大学北陽高等学校へと伝統が継承された2008年当時のご英断があったからこそと存じております。もちろん、学校法人の関係者の皆様の不断の献身やご英断により、素晴らしい教育環境のもとで、教職員の皆様が、私ども同窓生を日々献身的にご指導くださり、同窓生の皆様も教職員の皆様から薫陶を受けて、社会にいろいろな形で少なからず貢献することができましたことも、母校が単に100年という時間を経ただけでなく、母校から多くの有意な人材が巣立ち、母校を伝統のある教育機関としての形を具象化し、さらに次の100年に向けて発展を続ける大きな原動力となってきたものと存じております。

すでに、母校は101年目に歩み出しておりますが、次の100年に向け、私ども同窓生も母校の名に恥じぬよう社会に貢献できるよう努めるとともに、母校のさらなる発展に少しで寄与できるよう尽くしてまいりたいと考えておりますので、同窓生の皆様におかれましても、引き続きご支援をいただきたくお願い申し上げます。

「つながり」を可能にする 共通の価値観

関大北陽が創立100周年を迎えるにあたり、私は林敏夫元校長が中心となって編集した「北陽六十年史」に改めて目を通しました。注目したのは、創立者糸島校長に対する思い出の対談、そして糸島校長が去った昭和17年以降の戦争と敗戦後の動乱期の記事でした。そこには糸島校長の「親を思え、陰徳を積み」の教育の柱がしっかりと確立されながらも、修身一辺倒ではなく、階段教室で行われた16ミリ映画教育など当時の先端をいった北陽独自の徳育があったと書かれてあります。

学校における教育が実を結ぶためには、教師と生徒が尊敬し合い、親と教師が信頼し合い、先輩と後輩が支え合うという人間関係を作る必要があります。良好な人間関係を作るのには、一人一人の多様な価値観を尊重することも必要ですが、共通の価値観をもつことによって1対1の互恵関係を作ることのほうがずっと重要だと思います。

関西大学北陽高等学校・中学校前校長
「NPO法人つながりのち」理事長
同窓会名誉顧問 **鈴木 清士**



私が重要だと考える共通の価値観の一つに、糸島校長が教育の柱とした「親孝行」という価値観があります。「親孝行」は文科省の道徳の指導要領にも出てこない、今や死物となりました。親孝行の指導は親ではできない、学校の先生だからできるのですが、先生も上手に語らないとうまく伝わりません。「親は有難いのだ。親の恩を知り、それに報いていくのが人としての道だ」ということを子どもに伝えていくと、やがて保護者は「お前の担任は、人の道を語ることができる立派な先生だ」といって教師を信頼するようになり、やがて子どもも教師を尊敬するようになります。価値観を共有することはこういうことです。親と教師が価値観を共有できれば、素晴らしい関係ができる、三方よしの世界を実現できる、と思うのです。

不変と可変のバランスが大切な時代です。日本人としての共通の価値観を何としてでも守り続けてほしい、志をつなぎ世代をつなぎ社会とつないでいく、そんな関大北陽であってほしい、と心から願っています。

創立100周年、さらなる前進を

関西大学北陽高等学校・中学校
校長 **田中 敦夫**



同窓会の皆様には、平素より本校の教育の充実、発展のためにご理解とご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

関西大学北陽高等学校の前身である北陽商業学校が1925年に開校し、2025年には創立100周年という節目をむかえ、10月25日(土)、本校アリーナにて、創立100周年記念式典を行いました。時代は移り、人が変わっても一貫して、そこに流れている建学の精神、「知徳体、調和のとれた人間の育成」という理念は、人づくりに徹した初代糸島校長の思いとして、脈々として受け継がれています。学校が発展するには、「継続」と「変化」そのどちらも重要です。これからの社会で、自ら考え

行動する生徒を育成し、社会貢献、国際貢献できる人材を送り出す。そのために必要な「変化」を恐れず、「時代が求める学校」として歩みを進めていきます。

今後も、北陽高等学校のこれまでの良き伝統を踏襲しつつ、社会の変化を見据え、関西大学北陽高等学校・中学校として、さらなる発展に向け努めてまいりますので、皆様のご指導・ご支援をよろしくごお願い申し上げます。

「未来へつなぐPTA活動」を 目指して

関西大学北陽高等学校・中学校
PTA会長 **吉富 尚人**



同窓会の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素はPTA活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

関西大学北陽高等学校・中学校PTAでは、「教える・学ぶ・育てる一教師・生徒・保護者の願いはひとつ」という活動理念のもと、教職員の皆さまと連携しながら、子どもたちの教育環境の充実に取り組んでおります。文化祭や体育祭、講演会などの学校行事においては、WEBを活用した情報発信を行い、より多くの保護者の皆さまに気軽にご参加いただける工夫を重ねてまいりました。その結果、多くの行事で多数の皆さまにご参加いただき、学校と家庭のつながりをより身近に感じられる一年となりました。

本年度、北陽高校は創立100周年という大きな節目を迎えました。一世紀にわたり受け継がれてきた歴史と伝統を大切にしながら、次の百年に向けて新たな挑戦を続けていくことが、今を生きる私たちの使命であると感じております。PTAとしても、リアルとデジタルの融合を活かし、子どもたち・先生方・保護者が共に成長を実感できる活動を進めてまいります。

最後になりましたが、関西大学北陽高等学校・中学校が、これからも未来を担う若者の学び舎として発展し続けられますことを祈念するとともに、同窓会の皆さまの変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

2025年度 第48期定期代議員会開催

日時：2025年4月19日(土) 15時00分～16時30分
場所：関西大学北陽高等学校中学校舎1階書道室



2025年4月19日(土) 関西大学北陽高等学校中学校舎1階書道室にて第48期定期代議員総会が行われました。物故者に黙祷、校歌黙唱、に続き原会長からの総括、壇教頭先生より母校の近況が報告された。

中尾理事が議長を任命され第一号～五号の各議案が承認となった。

各予算においては母校発展と同窓会における活動について意見交換がされた。

代議員の皆様からの声を今後の理事会にて検討し、母校の繁栄、同窓会会員相互の交流に努めてまいります。役員人事において新役員人事が発表となりました。新体制にて半年後に迫った母校創立100周年の準備にはあります。

会議終了後においても、母校、同窓会に対して屈託のない意見が交わされた。

関西大学北陽高等学校同窓会
理事 庄司 久哉 (昭和59年卒)

2024年度 決算報告

自 2024年4月 1日
至 2025年3月31日

収入の部

科目	予算	実績	摘要
前期繰越金	6,478,777	6,478,777	
会費	3,980,000	3,950,000	395名
会員・会報協力金	300,000	289,000	協力募金249,000 パナー広告40,000
代議員会費	3,000	0	
雑収入(受取利息)	30	1,951	預金利息
総合計	10,761,807	10,719,728	

支出の部

科目	予算	実績	摘要
会議費	10,000	3,428	役員会・委員会ボトル茶ほか
代議員会費	10,000	0	案内等の発送費は通信費に計上
人件費	240,000	240,000	事務局
交通費	260,000	254,380	役員・委員会・事務局
消耗品費	30,000	1,109	コピー機及び保守料、封筒
通信費	700,000	829,535	会報発送費、電話料金、切手、葉書
慶弔費	800,000	716,420	卒業祝贈品、課外活動副賞
支部費	50,000	32,501	関東支部活動費
雑費	15,000	13,557	振込手数料他
予備費	1,000,000	1,000,000	体育館建替基金(特別教育活動費)
小計	3,115,000	3,090,930	
会報発行費	1,200,000	1,374,054	会報5,000部、HPリニューアル
組織・事業運営費	100,000	83,730	
小計	1,300,000	1,457,784	
合計	4,415,000	4,548,714	
次期繰越金	6,346,807	6,171,014	
総合計	10,761,807	10,719,728	

2025年度 予算(案)

自 2025年4月 1日
至 2026年3月31日

収入の部

科目	予算	摘要
前期繰越金	6,171,014	
会費	3,980,000	398名 X 10,000 (卒業予定者)
会員・会報協力金	290,000	
代議員会費	0	
雑収入(受取利息)	30	預金利息
総合計	10,441,044	

支出の部

科目	予算	摘要
会議費	5,000	会議用茶等
代議員会費	5,000	
人件費	240,000	事務局手当
交通費	260,000	各委員会等交通費
消耗品費	10,000	コピー機及び保守料、封筒、事務消耗品等
通信費	830,000	会報発送費、電話料、切手、葉書等
慶弔費	800,000	卒業祝、課外活動(優秀賞・団体奨励賞)副賞
支部費	50,000	関東支部活動費
雑費	15,000	振込料他
予備費	1,000,000	特別教育活動費
小計	3,215,000	
会報発行費	1,400,000	会報発行、HPリニューアル費
組織・事業運営費	100,000	
小計	1,500,000	
合計	4,715,000	
次期繰越金	5,726,044	
総合計	10,441,044	

役員・顧問

任期 2025年4月14日～2026年4月13日まで ☆印 新任

役職	氏名	卒業年	担当
名誉会長	岡田 彰布	昭和51年卒	
会長	原 強	昭和51年卒	関東支部長兼務
副会長	梶川 聖二	昭和57年卒	広報委員委員長
副会長	川合 浩幸	昭和58年卒	総務委員長
副会長	田村 大作	昭和59年卒	組織事業委員長
会計	庄司 久哉	昭和59年卒	組織事業委員
理事	中尾 明	昭和50年卒	広報委員
理事	澤田 涉	昭和52年卒	総務委員、事務局員
理事	吉井 寛	昭和54年卒	広報委員 ☆
理事	中本 誠	昭和57年卒	広報委員 ☆
理事	西澤 宏之	平成4年卒	組織事業委員
理事	梶井 武博	平成7年卒	組織事業委員
監事	中尾 明	昭和50年卒	広報委員 ☆
監事	大崎 晴久	昭和51年卒	広報委員
	今東 翼	平成25年卒	本校教員学校窓口(広報委員会)
名誉顧問	氏名		
顧問	田中 敦夫	本校学校長	
顧問	鈴木 清士	本校前学校長	

追悼

金澤 勇先生 逝去



元教頭 金澤 勇氏が4月1日、永眠されました。葬儀は、4月5日ベルコシティホールで行われ、多くの学校関係者、教え子の方々が参列されました。

金澤勇先生は、昭和33年より北陽高校にて教鞭を執り、退職後も大商学園理事長など歴任し、高等教育に生涯をささげられました。また関西大学北陽高校同窓会顧問としてもご尽力されました。

金澤先生の言葉、金澤先生の笑顔が、多くの人々の心に刻み続けられることを願います。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



01



創立100周年 記念式典・記念祝賀会

日時:2025年10月25日(土)
場所:記念式典 関西大学北陽高校総合体育館アリーナ
記念祝賀会 ホテルニューオータニ大阪 鳳凰

2025年10月25日(土)関西大学北陽高等学校 創立100周年記念行事が開催されました。

記念式典は、関西大学北陽高校総合体育館アリーナにて挙行された。

●第1部のオープニングは、吹奏楽部の記念演奏そして100周年記念動画「歩み」が上映された。田中敦夫校長の式辞そして関西大学合併当時、関西大学学長であった芝井敬司理事長からは、合併までの当時の母校「北陽」の校名と「校歌」が残り引き継がれたエピソードが語られ「北陽万歳!」の言葉で結ばれた。



●第2部は、創作ダンス部による記念演舞

続いて100周年記念動画「今」が上演され、現在の母校の活動が披露された。そして吉本興業 小藪千豊氏による『「育てられ」「育てて」育ち切っていない僕が思ったこと。』の教育講演会が行われた。



記念祝賀会は、場所をホテルニューオータニ大阪 鳳凰に移り、私立中学校高等学校・学校法人関係者、関西大学関係者、同窓会、退職教職員、PTA、教職員、事務職員など多くの北陽関係者を交え、盛大に創立100周年を祝した。

記念式典の締めは鈴木清士前校長の挨拶。関西大学合併時の森本靖一郎氏をはじめ関西大学関係者への感謝の言葉、一緒に苦労を共にした教職員、学校関係者への感謝の想いそして創立者糸島先生の「知・徳・体」の建学の精神を次の時代に引き継いで欲しいとの熱い想いを綴った。

創立100周年を祝して

わが母校 関西大学北陽高等学校の創立100周年を心からお慶び申し上げます。母校が名実ともにその名を全国に馳せ、ますます隆盛発展を遂げていることは、卒業生の一人として真に嬉しいことであり誇りとすることです。記念式典では素晴らしい演奏に合わせ校歌斉唱が行われ、私自身「卒業してもう40有余年がたったのか」との想いと共に、この輝かしい歴史と伝統ある関西大学北陽高校史からすればほんの短い1コマにすぎませんが、この学び舎で3年間を過ごせた事が、私の人生においていつまでも心に残る充実した年月であったことを再認識いたしました。また式典では数多くの諸先輩方ともお会いでき、各部活動の状況や近畿、全国大会での活躍に話が弾み、10代の青春に戻った気持ちにさせて頂きました。

特に私が所属していた陸上競技部の夏のインターハイでの活躍、そして冬の京都大路を颯爽と駆け抜ける後輩達が全国の強豪校と競う話を聞くと、今も母校から元気をもらっている自分がある事、そしてなによりもあらためて母校の素晴らしさを感じることができた貴重な時間となりました。最後になりますが先輩と後輩の太い絆によって培われた輝かしい伝統ある母校関西大学北陽高等学校が、この100年を通過点として次の100年に向け、益々発展していくことを心から祈念いたします。



関西大学北陽高等学校同窓会副会長
川合 浩幸 (昭和58年卒)

第12回35高槻北陽会



上段左から:岡田勝男、日下部幸雄、山本正明
下段左から:杉岡宗男、志賀将雄

「第12回 35 高槻北陽会」を開催

令和7年11月13日(木)午後5時30分から、昨年同様、高槻の名店?「宴どころ つきの井」で開催しました。5名(別添写真)の参加で、冒頭に当会の物故者への哀悼を込め黙祷と献酒後、宴会を開始した。最初は例によって老人特有の病気話…。途中から、現在は大変立派になりましたが、

母校の旧円形校舎・旧グラウンドの球拾い(レンコン畑)など懐かしい思い出に話が弾み、ついには高槻の名物清酒まで出てくる始末と、大いに会が盛り上がり、予定時間を大幅に超えた。名残惜しいが、最後に来年の再会と健康を祈念し、一本締めで閉会とした。
昭和35年度卒 山本 正明

02

03

関大北陽高校創立100周年に想うこと。

2025年は昭和100年を迎え、関大北陽高校も創立100周年という節目の年となりました。私の住む西宮市も市政100周年を迎え、地域でも多くの記念行事が行われました。1970年に母校を卒業して以来、54年間にわたり母校と関わり続けてまいりました。二・三年生の担任としてお世話になった恩師・佐藤誠一先生には、学業だけでなく人としての姿勢も教えていただきました。当時は定時制も併設されており、働きながら学ぶ生徒の姿には深い感銘を受けたことを覚えています。

同窓会では事務局のお手伝いをさせていただき、恩師が立ち上げられた「仲よし会」にも参加し、社会人として多くの学びを得ました。74歳となった今、先輩方からいただいた教えを後輩の皆さんに十分伝えられたかと思うと、身の引き締まる思いです。これからも健康を大切にしながら、明るく楽しい日々を過ごしていきたいと願っています。また、年2回のクラス会は、毎回心温まるひとときとなっています。
同窓会代議員 北川 徹(1970年 商業科卒業)



04



令和7年度 関大北陽高校サッカー部OB会開催



2025年4月20日(土)天満橋のキャッスルホテルにて「令和7年度関大北陽サッカー部OB会」が開催されました。懇親会前には総会が開催され、収支報告、事業報告、役員改選、今年度予算案などが承認され、OB会長は、山野孝義氏(S48年度卒)から田村隆之(昭和63年度卒)へバトンをつないだ。副会長、役員も平成卒のOB達が新任となり、大幅に若返り体制となった。新体制での現役選手の支援とOB相互の交流を図り、矢田監督より全国選手権出場の想いと現役サッカー部強化の支援、協力の言葉が告げられた。サッカー部OBは1,000名を超えるOB,OGがいるようだ。全国選手権大会での活躍を期待したい。宴の最後は全員で記念撮影そして円陣にて校歌の合唱、西村栄詰副会長のエール「フー!フー!北陽!」で幕を閉じた。

卒業生のご活躍を募集しております!

関西大学北陽高校同窓会では各分野で活躍している卒業生からの投稿を募集しております。何かの賞を受賞した、書籍を出版した等、様々な情報をお待ちしています。仕事関係の教育・研究・企業での活躍などに限らず、趣味、ボランティアなど幅広く紹介いたします。新聞や雑誌で紹介された記事なども募集しております。自薦、他薦で結構ですので、積極的な応募を期待しております。なお、原稿の長さ、写真の枚数に特に制限はありません。何か卒業生に関する情報がございましたら、ぜひ同窓会事務局までお知らせください。

詳しくは、同窓会HP
関西大学北陽高校同窓会
検索

新たな100年の始まりとなる節目の年 ひと味違う、いや四味ほど違う新しい北陽を創り上げたい

この度、生徒会長に就任いたしました横井 琥汰朗です。

私自身、生徒会活動は人生で初めてとなりますが、持ち前の実行力を生かし、仲間と協力しながら、どのような課題にも全力で取り組んでまいります。

今年度は、すべての学校行事を例年以上に充実させ、ワンランク上のものへと進化させていきたいと考えています。現在はまだ模索の段階ではありますが、将来的には「北陽」の名を良い意味で広く世界に発信できるような学校にしていくことが目標です。

また、北陽にとって新たな100年の始まりとなる節目の年です。これまでとはひと味違う、いや、四味ほど違う新しい北陽を創り上げていきます。今後、北陽の明るいニュースが数多く届くことを、ぜひ楽しみにしてください。

私は生徒会長として、この役職に人生を懸ける覚悟で責務を全うしてまいります。どうか関西大学北陽高等学校への変わりぬご支援とご協力を、よろしくお願いいたします。



関西大学北陽高等学校
生徒会長 2年E組
横井 琥汰朗

2025年度 同窓会課外活動表彰

個人の部						
学年	クラス	氏名	クラブ名	大会名	種目	結果
2	L	高島 大吾	サッカー部	第79回国民スポーツ大会(少年男子の部)	サッカー	出場
3	K	大東 飛真	柔道部	2025年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	60kg級	出場
2	K	森田 昊大		第48回全国高等学校柔道選手権大会	66kg級	3月開催
3	J	村上 愛実	水泳部	第93回日本高等学校選手権水泳競技大会	100M自由形	第2位
3	J	愛敬 みう		第93回日本高等学校選手権水泳競技大会	200M自由形	第3位
3	B	寺尾 奏音		第93回日本高等学校選手権水泳競技大会	200M平泳ぎ	第8位
2	K	堀江 奏花		第93回日本高等学校選手権水泳競技大会	200M背泳ぎ	第6位
2	K	諸角 満里亜		第93回日本高等学校選手権水泳競技大会	4x100Mリレー	第4位
2	K	小倉 奏音		第93回日本高等学校選手権水泳競技大会	4x100Mリレー	第4位
1	I	本山 愛海		第93回日本高等学校選手権水泳競技大会	4x200Mリレー	第7位
3	C	中條 航		第48回全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会	400M自由形	第8位
3	D	河合 絢音		第48回全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会	4x100Mリレー	第2位
1	J	山脇 葵		第48回全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会	400M自由形	第3位
2	K	藤本 航太郎	2025JAPANOPEN	200M/バタフライ	出場	
2	L	寺本 史玖	第47回全国JOCジュニアオリンピック春季水泳競技大会	100M平泳ぎ	第3位	
2	L	池田 星那	第47回全国JOCジュニアオリンピック春季水泳競技大会	50M自由形	第8位	
2	H	石井 悠貴	第47回全国JOCジュニアオリンピック春季水泳競技大会	400M自由形	第8位	
3	K	中村 佳吾	陸上競技部	第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	走高跳	優勝
2	E	矢田 篤志		第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	200m	第3位
1	I	河合 依夏		第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	走高跳	第6位
2	E	高橋 孝太郎		第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	走幅跳	出場
3	B	佐野 翔子		第41回U20日本陸上競技選手権大会	三段跳	第3位
3	K	濱田 幸生大		第41回U20日本陸上競技選手権大会	400m	第7位
3	K	玉井 直太郎		第41回U20日本陸上競技選手権大会	100m	出場
2	L	田川 瑛介		第79回国民スポーツ大会	三段跳	第5位
1	J	大迫 龍我		第79回国民スポーツ大会	走幅跳	第6位
2	F	福永 結希		第19回U18陸上競技大会	走高跳	第6位
1	I	大谷 心優	第19回U18陸上競技大会	走高跳	第6位	
2	L	杉本 幸太郎	第19回U18陸上競技大会	100m	第7位	
3	K	岡田 孝輝	第19回U18陸上競技大会	三段跳	第9位	
1	J	金城 樹	第56回U16陸上競技大会	走高跳	第13位	
1	I	小田 桐 健介	第56回U16陸上競技大会	100m	出場	
3	A	大宮 悠山	ラグビー部	第79回国民スポーツ大会(SHIGA国スポ)	ラグビー	優勝
3	D	久保 寛太郎		第105回全国高等学校ラグビーフットボール大会 ※Refereeとして	ラグビー	出場

団体の部			
クラブ名	大会名	種目	結果
創作ダンス部	第37回全日本高校・大学ダンスフェスティバル神戸	創作コンクールの部	出場
水泳部	第93回日本高等学校選手権水泳競技大会	男子400mリレー	出場
	第93回日本高等学校選手権水泳競技大会	男子400mドレーリレー	出場
	第93回日本高等学校選手権水泳競技大会	男子800mリレー	出場
	第93回日本高等学校選手権水泳競技大会	女子400mリレー	第4位
	第93回日本高等学校選手権水泳競技大会	女子400mメドレーリレー	第7位
陸上競技部	第93回日本高等学校選手権水泳競技大会	女子800mリレー	第7位
	第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	4x100mR	第3位
	第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	4x400mR	出場



個人の部 受賞者には、同窓会より表彰、副賞といたしまして図書券(5,000円)を、団体の部 受賞団体には、活動費各50,000円を寄与いたしました。

未来を切り拓く探究学習



協働プロジェクト「刀」発表会

企×学協働プロジェクト「刀」は、変化の激しい予測困難な時代を生き抜く力を育むための、独自の探究学習プログラムです。

2025年6月8日 大阪・関西万博夢洲会場「大阪ヘルスケアパビリオン」にてSDGs達成に向けた課題解決学習の成果発表が行われた。



進路状況 2024年度入試合格実績 関西大学 282名

関西大学学部別合格者数

学部名	合格者数
法学部	30
文学部	30
経済学部	39
商学部	26
社会学部	30
政策創造学部	21
外国語学部	4
人間健康学部	15
総合情報学部	22
社会安全学部	14
ビジネスデータサイエンス学部	17
システム理工学部	7
環境都市工学部	12
化学生命工学部	15
合計	282

国公立大学

大学名	合格者数
大阪大学	3
神戸大学	3
大阪公立大学	4
京都工芸繊維大学	1
名古屋工業大学	1
京都府立大学	1
神戸市外国語大学	2
高知県立大学	1
防衛大学校	1
水産大学校	1
合計	18

主な私立大学

大学名	合格者数	大学名	合格者数
慶應義塾大学	6*	龍谷大学	7
青山学院大学	6*	摂南大学	21
明治大学	11*	神戸学院大学	6
同志社大学	12*	追手門学院大学	18
関西学院大学	3	大阪経済大学	10
立命館大学	7*	東京薬科大学	1
京都産業大学	6	大阪医科薬科大学	2
近畿大学	12	京都薬科大学	2

* 既卒生を含む

体育系 クラブ 特集

スポーツコース対象クラブをはじめ、ひとりひとりが高い目標を持って部活動に取り組んでいます。体育館や運動場など、設備面でも選手の活躍を後押ししています。



サッカー部

歴史を塗り替える



私はこの一年、関西大学北陽高校サッカー部の「歴史を塗り替える」と覚悟を持ち主将を務めさせていただきました。今年はチームとして、インターハイ全国ベスト8、選手権大会全国出場、プリンスリーグ昇格、大阪2部リーグ昇格といった具体的な目標を掲げ、チーム全員が同じ目標に向かって進んで行くことのできるチーム作りを意識して日々取り組んできました。しかし、インターハイ大阪予選ではベスト16、選手権大会大阪予選ではベスト8と悔しい結果に終わってしまい残りはリーグ戦のみ。掲げた目標を1つも達成し「チーム全員で笑って終わる」をテーマに一日一日の練習を大切に重ねてきました。セカンドチームは年間負けなしで先に大阪2部リーグ昇格が決定しプレッシャーがかかる中、この一年取り組んできたことを全て出し、チーム全員が一つになって目標であったプリンスリーグ昇格を決めることができました。



時間は多く、主将という立場になっても悔しい日々が続きました。主将である上にこの悔しさを仲間に見せないで最後までやり切ろうと意識し、悔しさを誤魔化すために誰よりも明るく、常にチームのことを第一に考えてこの一年間取り組んできました。ピッチに立っていないからこそ気がつく点も多く、常にチームの荷物はどのチームよりも綺麗にすることを心掛けていました。私自身しんどい事の方が多かったこの一年間、どんな時でも私を支えてくれた仲間達には、感謝でしかありません。



最後に、組織の一番上に身を置く難しさ、全員のベクトルを同じ方向に向ける難しさ、沢山の事を経験する事ができ、人として何段階も成長できた一年間だったと思います。監督はじめスタッフの方々、副主将の三人、チームのみんな、ゲームキャプテン、最後に夢のような景色を見せてくれてありがとうございます。そして皆さんに支えていただいた事によりチーム全員で笑って終わる事ができました。ありがとうございます。関西大学北陽高校サッカー部でサッカーができて、とても幸せでした。これからの人生も自分らしく色々な色に彩っていきたく思います。これからも関大北陽サッカー部に温かいご声援、よろしくをお願いします。

サッカー部 主将 相馬 彩人

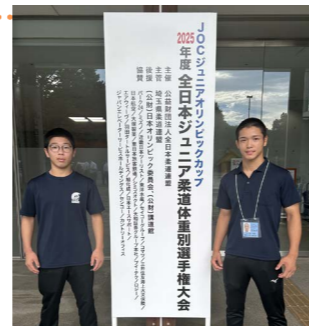
柔道部

精力善用、自他共栄の精神



まず初めに、本年も柔道部の活動に対し多大なるご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。柔道部は、最高かつ最強の関大北陽柔道部を目指し日々の稽古に励んでいます。2025年の大会において近畿大会個人戦優勝、全国高校選手権個人戦第5位入賞、全日本ジュニアオリンピックカップ(20歳以下)に初出場と新しいステージへと押し上げることができた1年でしたが、インターハイ大阪府予選において敗退と、勝負の厳しさも突き付けられた年でもありました。

精力善用、自他共栄の精神のもと、チームとして、また柔道家として成長できるよう周囲の方々への感謝の気持ちを忘れず1日1日を過ごしていきたいと思います。3月に日本武道館で行われる全国高校選手権大会個人戦において、昨年に引き続き出場が決まりました。2026年も全力で取り組んでまいります。今後とも関大北陽柔道部への温かいご声援をよろしくをお願いします。



水泳部

各大会で入賞多数!

水泳部は、8月17日から20日に、広島県・ひろしんピックウェーブで行われました。第93回日本高等学校選手権水泳競技大会に個人34種目、リレー6種目、総勢35名の生徒で挑みました。個人種目では、村上愛実(3年J組)が100m自由形で2位、200m自由形で3位入賞しました。その他3種目で入賞、リレー種目においては3種目で入賞することができました。その結果、女子総合5位となり女子においては、昨年の順位を上回ることができました。さらには、第48回全国JOCジュニアオリンピックに20名、第78回国民スポーツ大会に4名、ジャパンオープン2025に6名、日本選手権短水路に4名出場することができ、シニアの大会へ出場、全国大会で入賞を果たすまで力をつけてくれました。このような結果が残せたのは、どんな環境でも生徒達が支え合い、諦めず頑張ってきた成果であると思います。また、各ご家庭や多くの方々の方々のサポートがあったからだと思います。たくさんのご支援・ご声援ありがとうございました。これからも更に頑張っていくしますので、引き続きご声援よろしくをお願いします。



陸上競技部

全国インターハイ男子総合第5位

全国インターハイ 入賞者コメント

〇4x100mR

第3位 玉井 直太朗(3年K組)

今年は高校三年間の中で、最も充実した一年を過ごしました。昨年のインターハイのリレーで 予選で敗退した日から、リレーで日本一になるために365日頑張ろうという気持ちで努力してきました。結果は三番で終わり悔しい思いを経験しましたが、日々切磋琢磨してきたリレーメンバーとメダルを掴みとることができた幸せを感じました。この経験を活かして大学では全国大会で優勝を目指します。

〇走高跳 優勝 中村 佳吾(3年K組)

今年は広島インターハイとU20日本選手権、滋賀国スポで優勝することができました。去年は全国4大会に出場し、優勝目前で敗れてしまいました。この悔しさをバネに努力し続け、無念を払拭することができました。このような成績を取られたのは、様々な方にサポートしていただいたことで達成することができました。そんな方々に結果で恩返しできたことは自分自身成長したと実感しております。今後は世界陸上、オリンピックで優勝できるように日々精進して参ります。

〇200m 第3位 矢田 篤志(2年E組)

個人種目においては200m、リレー種目においては4x400mRなど自分の武器を増やすことができるようにレースを重ねました。昨年の全国インターハイよりも飛躍し、200mと4x100mリレーで3位入賞を果たすことができました。最も嬉しく感じたことはリレーで入賞出来たことです。入学当初から組んでいたメンバーで全国の表彰台に登ることができたときは感動しました。来年はさらに順位を上げて今年より活躍できるようになりたいと思いました。



〇100m 第8位 杉本 幸太郎(2年L組)

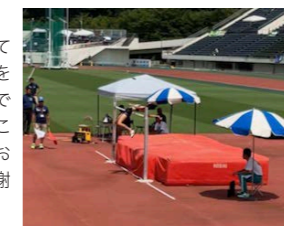
今年は全国インターハイ、国民スポーツ大会、U18と、全国規模の大会に多く出場することができました。100mでは全国インターハイ8位、U18で7位という結果を残すことができ、自分の積み重ねてきた練習の成果を形にできた点は良かったと思います。一方で、国体では準決勝敗退となり、まだ実力不足を感じる場面もありました。多くの人に支えられて競技に取り組んでいることへの感謝を忘れず、来年はさらに上を目指して成長したいです。

〇三段跳 第7位 田川 瑛介(2年L組)

全国インターハイ7位、U20日本選手権出場、滋賀国民スポーツ大会5位という結果で終わりました。昨年は記録的に全国大会で戦っているような選手ではなかったが、練習の取り組み方や頭を使いながら練習していくことで、全国大会で戦っているような選手に少しはなれてきているので、残りの冬季練習ではさらに精神面、身体面に力をつけて、来シーズンでは全国優勝、大阪高校記録更新を目標に日々努力をしていこうと思います。

〇走高跳 第6位 河合 依夏(1年組)

今シーズンは全国インターハイとU18陸上競技大会に出場させていただきました。全国インターハイでは予選通過できるほどの実力を持っていませんでしたが、なんと決勝に進み、初めて全国の舞台で入賞することができてとても嬉しかったです。常に良い記録を出すことができませんでしたが、たくさんの人が応援してくれたおかげでここまですることができました。来年はもっと強くなって、感謝の気持ちを忘れず日々努力していきたいと思います。



文化系 クラブ 特集

芸術、科学、文化と幅広い分野に渡って活動しています。日々のクラブ活動の成果を、文化祭など学内の行事の他、広く外部の大会やコンテストで発揮しています。



ジャズバンド部 ジャズバンド部の活動

単純な思いで選んだこの部活動でしたが、数多くの経験を通してジャズを心から好きになることができました。それは、失敗ばかりの僕を支えてくれた同期や後輩、優しく導いてくださった先輩方、そして温かく見守ってくださった先生方のおかげです。辛いことも楽しいことも共に過ごしたかけがえのない日々を、本当にありがとうございました。

3年D組 23番 阪口 左梗



美術部 美術部の活動

美術部では、過去3年で最も多い部員数となり、2025年度の部員数は22名となりました。体育祭や文化祭の応援幕や入退場門は、部員と生徒会の皆さんで力を合わせ、楽しく共同作業を進め、多くの方に喜んでいただける作品を制作できました。また多数の部員が私学展で入賞を果たしました。

3年G組 塚原 千乃
(つかはら ゆきの)



写真部 写真部の活動

現在写真部には1年生11名、2年生12名、3年生6名が所属しています。主な活動は体育祭や文化祭などの学校行事の撮影です。また、夏には撮影合宿を行い、秋には撮影講習会に参加し、各自の撮影技術の向上を目指しています。

料理部

料理部の活動

3年間の活動の中で、学年関係なく他の部員と仲良くなりながら、自分だけでは作ることがないような季節や流行に合わせた様々な料理を活動を通して作り、とても有意義な時間でした。料理部に入部して良かったと思いますし、とても大切な思い出です。

3年G組
前田 若葉



将棋部 将棋部の活動

今年度の部員は、中学生1年1人、2年0人、3年7人合計8人。高校生1年1人、2年0人、3年0人合計1人。全体9人で中学校の教室を使って活動しています。今年度は、高校生が1年生の一人だけになり、あまり活動はできませんでした。中学生は3年生が中心に楽しく将棋を指しています。強い生徒はいませんが、仲良く活動しています。



釣り部

釣り部の活動

今年度の部員は、1年22人、2年20人、3年17人合計59人の大所帯で活動しています。今年の夏はとても暑かったので、須磨海釣り公園で釣りを楽しみました。全員、何かの魚を釣って喜んでいました。今年も北陽高校オリジナルの大会を「北陽カップ」と銘打って和歌山県の加太で開催する予定です。



コンピュータ研究部 「新たな挑戦」

皆さんはコンピュータ研究部の活動内容をご存知だろうか。現在、コンピュータ研究部には大きく2つの活動があり、それは「プログラミング」と「e-sports」の2つの活動です。

プログラミングとはコンピュータ用語で「計画の実現のために、手順を作成して実行させること」を意味し、e-sportsとはコンピュータゲームをチェスや将棋のように競技として捉え、プレイヤー同士の対戦を行うことを言います

2026年度ではこの2つの活動の幅をより広げたいと思っています。e-sportsの方では既存の大会にだけ出るのではなく、別大会や別ジャンルのe-sportsの大会への参加や部活動で行うe-sportsの数を増やして行き、プログラミングでは部活動でより多くの種類のプログラミングについて触れて学べる様にしたいと思っています。

自分たちはまだ大会で好成績を残せていないので、e-sportsとプログラミングを部活動中に集中的にする期間を設けたりするなどと言った工夫もして、来年は先輩方の様に大会で好成績を残せる様に練習を重ねていきます。



また、大会だけではなく学年の枠を超えた部内戦などをする機会も増やし技術の後輩の部員にもしっかりと受け継ぐこともしていきます。コンピュータ研究部を部員全員で盛り上げて様々な活動をしていくのでこれからもよろしくお祈りします。

2年E年 若野 聖也

ESS 2025年度 ESS

私たちESSは、森元先生・ジェサ先生・エミリー先生のご指導のもと、3年生3名、2年生3名、1年生15名の計21名で活動しています。コンセプトは「楽しく、より深く英語を学ぶ」で、普段の活動ではコミュニケーションを重視し、ゲームやプレゼンテーションに取り組んでいます。少人数での英検対策や暗唱練習も定期的に行っています。

文化祭では、中学ESSと合同で「Hogwarts」と題したブースを企画しました。昨年度に引き続き、ハリー・ポッターの世界観に基づくもので、来場者の方々に英語ゲームやクイズを楽しんでいただきました。また、コスプレ撮影スポットも設置し、多くの生徒の皆さんに利用していただきました。



茶道部 茶道部の活動

茶道部は3年生4名、2年生9名、1年生3名で活動を行っています。文化祭に向けての日々のお稽古はもちろん、オープンスクールや初釜などのイベント時も和気藹々とした雰囲気の中で茶道を楽しんでいます。皆さんが文化祭に訪れた際には、ぜひ茶道部にいらして下さい。部員一同、心よりお待ちしております。

3年C組 渡邊 りん



フォークソング部 フォークソング部の活動

フォークソング部は1年15名、2年37名、3年30名、計82名で活動してきました。各バンドで演奏する曲を決定し、週3〜4回練習に励んできました。今年度も、多くのライブ活動を行うことができました。



吹奏楽部 吹奏楽部の活動

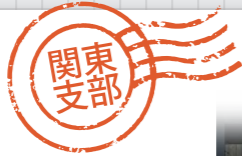
中学で先行して創部された吹奏楽部も、中高6学年が揃ってから4年目となりました。今年度は100周年記念式典でも演奏の機会をいただき、多くのおみなさまの前で演奏できることに部員一同喜びを感じて活動しております。今後も単に演奏するだけではなく、観てくださる方に楽しんでいただけるよう、工夫を凝らした演出を持ち味としていきます。

毎年出場している大阪府吹奏楽コンクールでは、昨年度に続き高等学校A組にチャレンジし、銅賞となりました。次年度は更に上を目指して頑張っていきます。

これからも応援のほどよろしくお祈り申し上げます。



関東支部だより



定例支部総会・懇親懇談会を開催

2025年7月5日(土)に日本橋やぶ久にて、毎年恒例の関東支部総会 懇親会が開催されました。

関東支部総会では、國府島顧問より開会の辞により始まり、続いて原会長挨拶、豊田幹事から、議案書をもとに代議員会出席報告があり、國府島顧問より支部報告及び支部計画が報告されました。

懇親会では、十時名誉会員のお言葉と音頭で乾杯し、交流を深めました。本部からは、川合副会長が参加し母校の運動部活躍の話題で盛り上がりました。

来年度も6月頃開催予定です。奮ってご参加ください。

関西大学北陽高等学校同窓会
関東支部幹事 豊田 直也(昭和57年卒)



関東支部50周年によせて

高校創立100周年おめでとうございます。
当支部も今年50周年を迎え、近況を交えてご報告させていただきます。1975年に東京支部として発起し、中断の時期を得て年に1回会合を実施しています。

会合では本部の方をお招きし近況報告をいただき、東京支部会員の近況を披露していただいていたとお聞きしております。1998年に再編、発展的に関東支部として名称を変更を経て、先人のご努力の中今日に至っております。

現在では、高校を卒業し縁あって関東地区に在住する会員の年1回の会合の場として、現在は東京駅八重洲口すぐそばの日本橋老舗そば屋「やぶ久」を拠点にし、発足の精神のまま本校の活動報告、本部・会員の懇親を深めております。

関東在住の方はぜひご参画いただけることをお待ちしております。

関西大学北陽高等学校同窓会
関東支部名誉会長 十時 良雄(昭和37年卒)
関東支部顧問 内海 昭(昭和42年卒)



同窓会年度協力募金にご協力ありがとうございました。

卒業年度順・敬称略 2026年1月11日現在

卒業年度	氏名	卒業年度	氏名	卒業年度	氏名	卒業年度	氏名
元校長	鈴木 清士	昭和43年卒	飯川 隆司	昭和49年卒	田中 志郎	昭和56年卒	森本 哲郎
昭和33年卒	神山 興三	昭和43年卒	辻 道明	昭和49年卒	池田 勝一	昭和57年卒	梶川 聖二
昭和33年卒	石川 隆一	昭和43年卒	東谷 潤	昭和49年卒	河本 和彦	昭和57年卒	高木 宣宏
昭和35年卒	岡田 勝男	昭和45年卒	市辺 史郎	昭和50年卒	中尾 明	昭和57年卒	久下 吾一
昭和37年卒	須上 勝久	昭和45年卒	野山 清彦	昭和50年卒	長谷川 成	昭和57年卒	明石 和夫
昭和37年卒	村田 正明	昭和45年卒	北川 徹	昭和51年卒	岡田 彰布	昭和58年卒	川合 浩幸
昭和37年卒	前田 昌昭	昭和45年卒	土肥 茂	昭和51年卒	原 強	昭和58年卒	田中 裕心
昭和38年卒	大野 健三	昭和45年卒	國府島 勇三	昭和51年卒	大崎 晴久	昭和59年卒	庄司 久哉
昭和39年卒	往田 雄三	昭和45年卒	土肥 茂	昭和51年卒	星野 勝	昭和59年卒	田村 大作
昭和40年卒	城島 未明	昭和46年卒	口村 茂	昭和51年卒	八田 敏彦	平成 2年卒	入江 励
昭和41年卒	増田 正彦	昭和46年卒	覺前 知廣	昭和51年卒	中井 善之		
昭和42年卒	山内 直行	昭和46年卒	成海 進	昭和53年卒	中本 導男		
昭和42年卒	内海 昭	昭和48年卒	山本 武司	昭和53年卒	吉井 寛		
昭和43年卒	吉田 稔弘	昭和48年卒	速水 隆	昭和55年卒	小西 浩文		

同窓会協力募金のお願

関西大学北陽高校同窓会では、同窓会活動の維持のため、会員による年度協力募金制度を導入しております。

現在の同窓会の主たる活動資金は、年度協力募金と同窓会終身会費(卒業時)となっておりますが、少子化の影響もあり、今後、減少傾向が予測されます。このようなことから、同窓会会員相互の親睦、母校支援を維持し、今後も更に充実、発展させていくために、

卒業生による資金協力をお願いすることとしたものです。皆様のご理解とご賛同のもと年度協力募金制度を定着させ、同窓会活動を発展させていきたいと考えておりますので、何卒、ご支援の程よろしくお願いいたします。

つきましては、できるだけ多くの同窓生にご賛同をいただきますようお願いいたします。

郵便振込 ゆうちょ銀行をご利用の場合

- 口座番号 00990-2-94658
- 加入者名 関西大学北陽高等学校同窓会 年度協力募金

ゆうちょ銀行以外の金融機関をご利用の方

- 銀行名 ゆうちょ銀行 ■金融機関コード 9900
- 店番 099 ■店名 ○九九店(ゼロキューキュー店)
- 口座番号 0094658
- 口座名 関西大学北陽高等学校同窓会 年度協力募金

今回ご案内により、ご逝去され、ご家族からご連絡いただいた卒業生の方々(敬称略)

元教頭 金澤 勇	昭和38年卒 井上 弘昭	昭和46年卒 清水 雅彦	昭和51年卒 京本 雅彦	昭和51年卒 八田 敏彦	昭和54年卒 戸出 登志雄	昭和57年卒 宇陽 宮橋
-------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	-----------------



関西大学北陽高校同窓会ホームページ

<https://www.hokuyo-ob.jp>

ホームページバナー広告の募集について

関西大学北陽高等学校同窓会では、同窓会運営財源確保と同窓生相互のコミュニティ等を図ることを目的として、卒業生が在籍する企業・団体を対象に、バナー広告の掲載を承っております。掲載料は、年間10,000円と非常にお安く設定いたしましたので、ぜひ、旧友との仕事情報の交換等にご利用ください。

1.バナー広告掲載料 10,000円 1年間掲載 5,000円 半年間掲載

2.掲載場所

トップページ以降の左メニュー下部にバナー広告が掲載されます。(ランダム10社分、その他は広告掲載企業一覧ページが設けられています。)バナー広告(ホームページ内に表示される広告画像もしくはテキスト)から広告主の情報を掲載したOBマイページにリンクします。詳細は「関西大学北陽高校同窓会」で検索 <https://www.hokuyo-ob.jp>

関西大学北陽高校同窓会ホームページバナー広告協賛企業

■株式会社関西ホームライフ	昭和46年卒	佐藤 栄司 様	■株式会社 寺田美研	昭和42年卒	寺田 賢作 様
■株式会社トータル企画	昭和57年卒 硬式野球部	高木 宜宏 様	■森岡ボクシングジム	平成3年卒	中川 智 様
■鳥居整骨院	昭和51年卒 硬式野球部	鳥居 敦 様	■有限会社アメリカ堂	昭和43年卒	飯川 隆二 様
■株式会社入谷商会	昭和35年卒	岡田 勝男 様	■有限会社さわや	昭和41年卒	濱田 康雄 様
■入江電気興業株式会社	平成2年卒	入江 励 様	■ピーバイエス株式会社	昭和57年卒 サッカー部	梶川 聖二 様
■株式会社A・S	平成15年卒 硬式野球部	森 浩彬 様	■北陽岡田会	昭和51年卒 硬式野球部	鳥居 敦 様
■有限会社 薩 摩	平成元年卒 サッカー部	太田黒 博 様			